

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年2月

事業所名：NPO法人はなのいえ

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|---|-------------|---------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 定員(10名)に対し、専用の活動スペースを約35㎡確保している。他にも農園や田んぼなど体験活動を行う場所がある。 | 概ね満足されています。 | 現状を維持し、子どもたちが活動しやすいように工夫していきます。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 基準を満たした職員数＋加配職員を配置している。(保育士、教員免許等有資格者が基本) | 概ね満足されています。 | 必要な人員配置を維持し、臨機応変に対応していきます。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | ①個別活動エリア、グループ活動エリア、トランジションエリア(スケジュールの確認の場)など、室内の構造化を行っている。 ②情報伝達は具体物やカード、文字など個々に合わせた伝え方を工夫している。 ③出入口やトイレなどには手すりの設置や可動式スロープを使用し、バリアフリー化に努めている。 | 概ね満足されています。 | 子どもたちが過ごしやすい環境を整備していきます。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 活動の前後に清掃や整理整頓を行っている。また、活動内容や子どもの特性に合わせてレイアウトの変更などの環境調整を行っている。 | 概ね満足されています。 | 今後も清潔で過ごしやすい空間を維持していきます。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 毎月の会議にて業務の見直しや課題の設定を行い、職員間で共有を行っている。 | | |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 実績なし。 | | |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 外部研修に参加し、学んだことは職員間で共有することにより職場全体の資質向上に繋げている。 | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|--|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | 1 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 保護者や学校等各種連携機関との情報交換や、行動観察によりニーズや課題を客観的に分析したうえで支援計画を作成している。 | 今後も適切な支援計画の作成を行い、本人や家族と共有することで支援計画が活用できるよう取り組んでいきます。 | |
| | 2 | 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 現状に適した個別活動の場、集団活動の場での支援方法について記載している。家庭でも汎化できるよう繋げている。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も適切な支援計画の作成を行い、本人や家族と共有することで支援計画が活用できるよう取り組んでいきます。 |
| | 3 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 目標に対応した活動を設定し、日々の具体的な支援内容を記載している。家庭でも汎化できるよう繋げている。 | | 今後も適切な支援計画の作成を行い、本人や家族と共有することで支援計画が活用できるよう取り組んでいきます。 |
| | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 支援計画を元に実施している。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続して、支援計画に沿った支援の提供に努めます。 |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 毎月会議を行い、活動プログラムを決定している。 | | 今後も継続して、子どもたちが飽きないような工夫をしていきます。 |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 学校の予定を元に家族と調整を行い、支援を行っている。 | | 今後も臨機応変に対応し、満足して頂けるよう支援を行っていきます。 |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 週替わりプログラムと継続的プログラム、個別プログラムを組み合わせ活動している。 | | 子どもたちが飽きないよう工夫していきます。 |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 支援開始前に職員間でミーティングを行い、支援が出来るよう取り組んでいる。 | | より良い支援につながるよう、今後もミーティングにて丁寧な情報交換を行っていきます。 |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 支援終了後に振り返りを行い、周知するようにしている。 | | 今後もミーティングにて情報交換を行い、より良い支援に繋げていきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|---|---|--------|--|
| 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 支援終了後の振り返りにて、支援の検証を行っている。その都度記録も行っている。 | | より良い支援に繋がられるよう、今後も記録の徹底及び支援後の振り返りを行っていきます。 |
| | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 定期的にモニタリング及び、計画の見直しを行っている。 | | より良い支援に繋がるよう、今後もモニタリング及び計画の見直しを行っていきます。 |
| 関係機関との連携 | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 利用中の様子を伝え、関係機関との情報共有及び対応方法の統一を行っている。 | | 今後も継続して関係機関との連携を行って支援に繋がっていきます。 |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | |
| | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | |
| | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 必要に応じて関係機関と連携を行い、より良い支援のために情報共有を行っている。 | | 今後も継続していきます。 |
| | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 必要に応じて関係機関と連携を行い、より良い支援のために情報共有を行っている。 | | 今後も継続していきます。 |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 必要に応じて関係機関と連携を行い、より良い支援のために情報共有及び研修の受講を行っている。 | | 今後も継続していきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------------|--------|--|--|--------------------|--|
| | 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 地域の児童館や公園などに行って、地域の子どもたちと交流を図っている。 | | 地域との交流の場が持てるように働きかけていきます。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に関われた事業の運営 | 感染症拡大予防のため、地域住民を招待しての行事は実施できていない。 | | 今後も子どもたちやそのご家族が安心して利用して頂けるだけでなく、地域の方にも開かれた施設づくりに取り組んでいきます。 |
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 見学や契約の際に丁寧に説明するように努めている。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続していきます。また、不明な点があれば、いつでも相談して頂けるよう声掛けを行い対応していきます。 |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 面談にて、子どもの様子や課題を一つひとつ確認しながら支援方法について共有し、支援計画に対応する活動内容まで丁寧に説明している。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続していきます。また、不明な点があれば、いつでも相談して頂けるよう声掛けを行い対応していきます。 |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | ペアレント・トレーニングの機会を設けるまでには至っていないが、日々子どもの様子を共有し、必要な関わりを整理したり、提案できるようにしている。 | | 保護者の困りごとや不安に寄り添いながら、相談に応えられるよう職員の質の向上を目指していきます。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡ノートや送迎の際に日頃の様子について情報共有を行っており、支援経過も併せて伝えている。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続していきます。また、困った事があれば、いつでも相談して頂けるよう声掛けも行っていきます。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 面談にて、子どもの様子や課題を一つひとつ確認しながら、支援方法について共有し、支援計画に対応する活動内容まで丁寧に説明している。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続していきます。また、困った点があれば、いつでも相談して頂けるよう声掛けも行っていきます。 |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 現在行っていない。 | | 要望があれば応じてより良い支援に繋げていきます。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 苦情が上がった時には保護者の説明と改善点について話す体制を整えている。 | 概ね満足して頂いています。 | 保護者の思いをしっかりと受け止め、速やかに改善するよう心がけます。 |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 利用児、利用家族ごとに最適な意思疎通方法を検討し、相互にストレスのないコミュニケーションがとれるように配慮を行っている。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続して行っていきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------|--------|---|--|--------------------|--|
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | SNSにて活動報告やイベント案内を行っている。また、行事の案内や翌月のプログラムは紙面にて発信・報告を行っている。 | 概ね満足して頂いています。 | 今後も継続して行ってい、開かれた施設づくりに努めます。また、広報誌(はなのいえ通信)の発行を再開し、より多くの情報発信を行っていきます。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報の取り扱いについては研修を実施し、最新の注意を払うよう取り組んでいる。 | ご理解いただいています。 | 今後も個人情報の取り扱いには注意を払っていきます。 |
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 各マニュアルを策定し、適宜見直しを行っている。また、職員への周知を行うとともに、保護者へも面談の際に説明を行っている。 | ご理解いただいています。 | 引き続き保護者の方へも周知徹底できるよう心がけていきます。 |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 年に二回、火災や地震、水害を想定した避難訓練を行っている。災害について考える機会や具体的な避難の練習の機会となるよう活動プログラムとして取り入れている。 | ご理解いただいています。 | 今後も継続して避難訓練を実施し、災害時の子どもたちの安全確保に努めます。 |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | マニュアルの策定及び研修機会を設け、適切な対応が取れるよう取り組んでいる。 | | 今後も継続して行っていきます。 |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | マニュアルの策定及び研修機会を設け、適切な対応が取れるよう取り組んでいる。また、家族へも説明し施設内にも掲載しているが、現状身体拘束は行っていない。 | | 今後も継続して行っていきます。 |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 必要に応じて適切な対応を取っている。 | | 今後も継続して行っていきます。 |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ヒヤリハットを作成しており、事業所内での共有を行っている。 | | 今後も継続して行っていきます。 |